

# 高速交通網調査特別委員会資料

(平成27年3月11日)

1 県内空港の現状について

【交通政策課】・・・1ページ

地域振興部

# 県内空港の現状について

平成 27 年 3 月 11 日  
交 通 政 策 課  
観 光 戦 略 課

## 1. 鳥取砂丘コナン空港

### <愛称使用開始>

3月1日(日)午後1時から鳥取空港国際会館においてオープニングセレモニーを開催し、「鳥取砂丘コナン空港」の愛称使用を開始した。

- (1) 参加者 約500名(上海チャーター便利用者約200名を含む。)
- (2) 報道関係者 約50社
- (3) 直後の反応
  - ・鳥取-羽田便の3月の予約状況が、好調であった昨年に比べても約10%の増となっている。(3/3時点)
  - ・同日を機に、鳥取空港サポートクラブへの登録が増加している。
  - ・飛行機の発着時刻以外の時間帯でも、若い男女が到着ロビー前のウエルカムスペースで写真を撮ったり、親子が国際会館フリースペースのトリックアートで写真を撮りに来たりしている。

### <鳥取-東京便>

- 1便増便された26年4月から27年2月までの搭乗者数は311,365名(速報値)、搭乗率は57.8%で、政策コンテストの1年目の目標数は達成できる見込みである。
- 5便化を定着させるには、今後更に利用者増に努め、増便に見合うだけの搭乗率の確保が必要であり、空港の愛称化も最大限に活用しながら引き続き利用促進に取り組んでいく。

## 2. 米子鬼太郎空港

### <米子-東京便>

- 26年4月から27年2月までの搭乗者数は450,290名(速報値)、搭乗率は66.3%で、出雲大社の遷宮効果で好調であった昨年度には及ばないものの搭乗者数は堅調に推移している。
- 既に夏ダイヤでの6便継続が確定しており、引き続き、利用促進に取り組んで、6便化を定着させる。

### <スカイマーク便>

- 2月1日から米子-神戸、米子-那覇の各1往復の運航となっており、8月末までは同便が継続運行されるが、9月1日以降はいずれも運休となり、スカイマーク便は一旦全便が運休となる。
- 同社の9月1日以降のダイヤに関する公表資料の中で「社の再生並びに経営改善が進み、盤石な経営基盤が整った後には、改めて米子路線への就航を検討したい」旨のコメントが付されたところであり、県としても継続して同社と定期的に情報共有していくとともに、航空便の利用促進に努めていく。

### <米子-ソウル便>

- 昨年11月末から本年1月初旬の韓国内のメディアを活用した本県の認知度向上策や旅行商品販売を通じて利用者が急増している。
- 2月の利用実績は、就航後初めて韓国人搭乗者数が3,000名を超え、搭乗率は就航以来最高の88.7%となった。今後も韓国内での認知度向上による誘客や地元の利用促進に努める。